

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学 SFC 研究所ファブ地球社会コンソーシアム主催 未来を創造するファブ人材発掘「ファブ 3D コンテスト 2021」開催

慶應義塾大学 SFC 研究所ファブ地球社会コンソーシアムでは、未来を担う才能を育成するためコンテストを開催します。過去5年間、3Dプリンタなどのデジタル工作機械やIoTなどの新しい技術の利活用法と、STEM*1 領域における実践的事例や才能溢れる人材を幅広く発掘してきました。

今年度からはテーマを「循環型社会を促進するこれからの暮らし方」と改め、地球環境の時代に、どのようなつくりかたが求められ、どのような暮らし方が可能になるかを、SDGs*2 の目標 12 にもある「つくる責任、つかう責任」をもとに考えていきます。今年度は特に、三菱ケミカル株式会社により開発された、植物由来で微生物などにより分解可能な新型プラスチックで具体性を高め、机上の空論だけではない実践を伴ったアイデアを募集します。素材の可能性を探求する、この世に全く今ないものを提案する、現状をより良くする、課題を解決するなど、どのようなアプローチでも構いません。日本全国から未来を明るく、楽しく、優しくする作品や探究心溢れる挑戦をお待ちしています。

*1: 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、数学 (Mathematics) の教育分野の総称。芸術の(Art)が加わり STEAM と表現されることもあ。

*2: 「SDGs (エスディーゼーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会の共通目標です。「17の目標」と「169のターゲット (具体目標)」で構成されています。

1. 概要

応募期間：2021年10月22日（金）22:00迄

募集内容：

テーマ 「循環型社会を促進するこれからの暮らし方」

応募方法：

■ 応募までに必要な項目

(1) 応募部門を決める。

応募対象：高校生以下

個人部門 : 小学生から高校生の方 1名で作成された作品が対象となります

チーム部門 : 小中高生を中心としたチーム

(社会人または大学生

チーム例 : 高校生 1名 + 大人 2名 など

(2) どの素材を利用したかをきちんと明記 ※素材申し込み方法は WEB サイト参照

(3) どのような点にフォーカスしたのか、思考や制作プロセスを Fabble (*3) に記載する。

(4) Fabble でのドキュメンテーションに、必ず半角英数で該当ハッシュタグをつけてページを作成してください。

個人部門ハッシュタグ : #fabcon2021s

チーム部門ハッシュタグ : #fabcon2021t

*3 : Fabble とは、慶應義塾大学 SFC 研究所ファブ地球社会コンソーシアムで開発したものづくりのためのオンラインドキュメンテーションプラットフォームです。URL : <https://fabble.cc/>

応募条件の詳細ならびに Fabble の使用方法については、公式 WEB サイトをご覧ください。

<https://www.fab3d.org/>

2. 選考について

締め切り : 2021 年 10 月 22 日 (金) 22:00 迄 Fabble にページを作成

審査結果 : 2021 年 10 月下旬-11 月上旬に受賞候補者を公式 WEB サイトに掲載予定

授賞式 : 2021 年 11 月下旬予定 オンラインにて開催予定

3. ファブ地球社会コンソーシアム代表 田中浩也 (慶應義塾大学環境情報学部 教授)からのコメント

今年より、小中高生をメインとし「循環型社会を促進するこれからの暮らし方」とテーマを改めました。これからの FAB は「ものをつくる」だけではなく、つくったあとのことも考えたり、そもそもどういう素材でつくっていくのかを深く意識したりすることが大事だと考えたからです。

全国各地のファブ施設で利用されている小型の 3D プリンタは、もっぱらプラスチックの樹脂が使われています。プラスチックは 150 年ほど前に誕生し、生活の隅々で使われています。生命を維持するために不可欠な医療品や防災備蓄用のプラスチック製品もあれば、他の物に代替可能な容器プラスチックもあります。プラスチックとは何なのか。何が良い面で、何が悪い面なのか。どんな場面でのプラスチックを残し、どんな場面でのプラスチックを減らしていけばいいのか。そして、使用後にどのように暮らしの中で循環させていくか。石油由来ではなく、植物由来で生分解可能なプラスチックも、新しく登場してきています。すべてが悪でもなく、すべてが善でもないのです。

大人も正解がわからない中で、みんなで試行錯誤して、環境のことと暮らしのことを考えてみましょう。はじまりの年なので、うまくできても、できなくても、実験の結果を積極的にシェアするという機会として、捉えてもらえたらと思います。日本から世界に FAB を使った新しい可能性を発信していきましょう。

本件に関する報道関係からのお問合せ先

慶應義塾大学 SFC 研究所ファブ地球社会コンソーシアム
ファブ 3D コンテスト事務局（担当：渡辺・大野）

E-mail:info@fab3d.org

本プレスリリースの配信元

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

TEL: 0466-49-3436

FAX: 0466-49-3594

E-mail:kri-pr@sfc.keio.ac.jp